

かがやきプラス 中学生家庭版



テーマ お互いの価値観を認め合う

「自分は認められ、大切にされている」という実感を

金沢星稜大学人間科学部 児童心理学部 教授 さとう ゆきえ 佐藤 幸江

暗い話題提供から大変心苦しいのですが、最近(12月現在)ソーシャルメディアの影の部分でクローズアップされるような事件が、世間に衝撃を与えました。インターネットを使うことで私たちは、コミュニケーションの輪が広がり、便利になる一方で、インターネットを悪用した行為に晒されるようになりました。その匿名性を悪用して、他人への中傷や無責任な噂、差別的な書き込み、特定の個人情報の無断掲載等々、人権やプライバシーの侵害につながる情報が流れることによって、大切な命まで危険に晒されるという現実と直面しています。

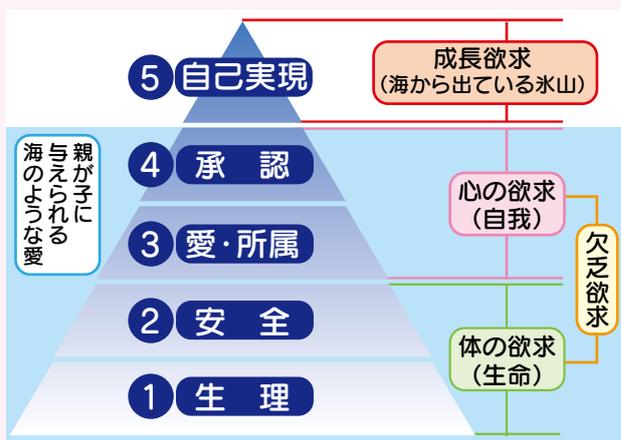
容疑者と10代・20代の被害者の接点は短文投稿サイト「ツイッター」だったとみられています。不特定多数が閲覧するツイッター上で、心の内をつぶやくのはなぜなのでしょう。親や友人、教師等目の前にいる人に相談するのではなく、なぜ、そのようなゆるいつながりに頼ろうとするか、その言葉から深い心の闇を感じとられた方は多いことでしょう。

子どもは、かけがえのない存在。なくなったら他にかわりとなるものがない存在であるという認識に、異議を唱える親はいないでしょう。けれども、頭ではそれが分かっている、やらなければならないことに追われていたり、仕事で疲れていたり、生活に追われていたりしていると、ついついそれを忘れがちになってしまいます。

保護者や地域ができるかかわりを共に考え、同じような事件が二度と起こらないように、今の大人たちが考え、行動していかななくてはならないと思います。

マズローの欲求5段階説

欲求の段階を示すピラミッド構造の図は有名なので、見たことがある方も多いのではないのでしょうか。アブラハム・マズローは、アメリカの心理学者です。マズローは、人間は自己実現に向かって絶えず成長する生き物であると仮定し、人間の基本的欲求を5段階に分類しました。マズローの説は、科学的な根拠がないとか、環境要因を無視しているとか指摘される部分もありますが、人の欲求を考える上でとても分かりやすく、一つの視点としては面白いものです。一人の人間として経済的・精神的に自立し、もって生まれた個性を生かしながら、「自立心・責任感」がどのように育つかをマズローの欲求5段階説から考えてみます。



①生理的欲求

生命維持のための本能的な欲求で、食事、睡眠、排せつです。空腹を満たす食事があることで、人は食べ物に不自由がなくなると、次に安心して安全に暮らしていきたいと思うのです。

②安全欲求

安心して食事をして、ゆっくりと眠りたい、暑さや寒さをしのげる衣服や家が欲しいと思います。安全欲求を求める言動は、幼児期の子どもによく見られます。

ここまでの欲求は、日本人の多くが満たされていると考えられてきましたが、近年は、親の貧困や暴力・ネグレクトといった虐待で命を落とす子どもたちがいるという現実もあります。

③愛・所属（社会的）欲求

家庭やクラス、部活やサークル、地域などどこかに所属して、誰かから愛されたい・認められたいと思うことです。かまってほしいのです。ですから、拒否されたり無視されたりすることで、孤独感を感じ、うつ状態にもなってしまいます。いじめはこの欲求を阻害している状態をいいます。

④承認欲求

地位や名声、権利、注目を得て人から認められたという欲求から、技術や能力を身につけて自分自身を信頼尊重する自己評価を高めようとする欲求に高まっていきます。この欲求が満たされないと劣等感や無力感を感じます。

⑤自己実現欲求

自分自身の持っている能力・可能性を最大限に引き出し、創造的活動をしたい、自己成長したいという欲求です。

マズローは晩年、5段階の欲求階層の上に、さらにもう一つの段階があると発表したそうです。それが、「自己超越」(Self-transcendence)の段階です。自己超越者は、知識や認知などあらゆるレベルで高い能力を発揮して活躍し、自分のためだけでなく他人や社会のために貢献できる人だと考えられています。

「承認欲求」を満たすための親のかかわり

人の人生がいつも順風満帆とは限りません。親が満たしてあげられる子どもの欲求は、「生理的欲求、安全の欲求、愛・所属の欲求、承認の欲求」だと思います。特に、中学校段階では、「承認の欲求」を満たすための親のかかわりを、ぜひ考えてみてください。

★「話すこと」より「聴くこと」を

私たち親は、子どもが小さい頃から、聴くことより話すことに重点を置きがちです。子どもたちがだんだん成長してくると、それは話すというより一方的に命令指示することによって変わってきていませんか。

子どもたちの最高の人生のサポーターとして、「聴くこと」を始めてみましょう。親は聞いているつもりで聞いていないことがほとんどです。「聴く」というのは、相手が聴いてもらったと感じる聞き方をすることです。「聴く」技術の第一歩は、まず黙ること。子どもがどう感じているのかを、まず受け止めます。その子の考えを、認めます。人にとって大切なことは「自分が理解されている」という感覚です。乳児から大人に至るまで、私たちは関心を示され、理解され、認められることを求めます。なぜなら、それこそが愛されているという実感だからです。その、一番の方法が「聴いてもらう」ことなのです。

★人は人の中で育つ

少子化は、かなり進行してきています。子ども同士の間関係もまた、少子化の中で少数のつきあいによって変わってきています。親しくつきあえる仲間を探し、一緒にいることを好むようになっていきます（親もそうかもしれません）。その人との「代わりのいない関係」「その人だけとの親密圏」をつくりやすいので、相手を尊重し配慮する傾向が強くなり、相手に立ち入ってその気持ちを傷つけるかもしれないことを避けるようになります。自分もまたうかつに踏み込まれたり、比較されたりして自尊心が傷つくことを嫌がり、そういった関係が、いじめや競争と絡みやすくなるようです。

そこで、家族を超えた「親密圏」を持つことを心がけてみてください。異年齢の子どもたち、高齢者、様々な大人を含んだ子どもたちとのつきあい等へと広げ、そこで見せる子どもの姿を認めてあげてください。きっと、家族の中では見えない姿が見えてくることでしょう。

地域でも、様々な人とのかかわりを生む場があるとよいと考えます。そして、子育て中の親子にやさしいまなざしを送ることのできるまちづくりを、みんなで目指していこうではありませんか。

家庭教育学級の紹介

【活動名】

金沢市立大徳中学校 PTA「わかば学級」
料理研究家の浅野淑子先生をお迎えして
『手抜きで本気クッキング』

【ねらい】 時短料理を習得することにより 母親（父親）
の心にゆとりを生み、子どもと向き合う時間をつくる

【内容】

当日は4人で1グループとし調理開始。主食～デザートまでを含む5品を60分間での完成を目指した。結果約40分で調理終了。グループごとに各家庭での普段の食生活などに関して話し合いながら会食をした。

【感想】 普段子どもにバランスの取れた食事を心掛けたいと思っているが現実共働きの為、とりあえず空腹を満たすことが優先しがちでした。今回ちょっとした工夫を学んだことにより思ったより簡単に調理することができました。（参加保護者）

【開催日時】

平成29年7月6日（木）10:00～14:00

【開催場所】

金沢市企業局ガスショールームガスポート

【参加人数】

大人15名



【活動名】

金沢市立高岡中学校 PTA「たかおか学級」
思春期講座
～子どもの気持ちに寄り添って～

【ねらい】 思春期の子どもたちの気持ちをくむ

【内容】

子どもが学校へ行きたがらない場合は親としてどう対応したらいいか、思春期の子どもたちが抱える悩み、不安など気持ちの変化に早く気づいてあげるには、子どもに無理をさせず見守ってあげ家族との関係を良好にすることが大切であるということなどを学んだ。

【感想】 先生のお話や、体験されたお話を聞いて自分だけじゃないと思えたことが、参加させてもらえて気持ちが楽になりました。スクールカウンセラーの先生がいらっしゃることも知らなかったので、学校の先生だけでなく相談できることは安心できました。（参加保護者）

【開催日時】

平成29年9月16日（土）10:00～11:30

【開催場所】

高岡中学校 2階 図書館

【参加人数】

大人15名

講師：中出栄一郎先生（本校スクールカウンセラー）



「ごまかすな！」

祖父が残してくれたこの言葉
一生心にひびく声

秋田県大仙市
中学校1年 高橋 優輝

母に、今何時と聞いた時、
あなたが大事と
思わぬ答え

岐阜県恵那市
中学校2年 石井 優斗

「もしもし」と僕が答えると
「父ですか」と間違えられた
でもちょっぴりうれしい親子の証

岩手県北上市
中学校3年 小森 大輝

何を言ってもいいんだよ
何も言わなくてもいいんだよ
家族の前では、そのまんまでいいんだよ

東京都多摩市
一般 松井 尚美



「かなざわ家庭教育サイト」開設！

「予定が合わなくてなかなか講演会や研修会に行けない…」

「この前配られた家庭教育通信、読みたいけどどこに片付けたかな？」

「子育てや家庭教育について、どこに問い合わせたらいいのかな？」



そんな保護者のみなさまのために、いつでもどこでも家庭教育の情報が手に入るホームページ「かなざわ家庭教育サイト」を開設しました。

金沢市の家庭教育推進事業や、子育て経験者・有識者によるコラム、市民の方々の家庭教育に関する活動紹介などを掲載していきます。

詳しくは、「金沢 家庭教育」で検索！

金沢 家庭教育

検索

URL

http://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/katei_1.html

出前講座「みんなで家庭教育！」企業の活力、地域の活力は元気な家庭から

みなさんの職場や地域の研修等に、金沢市教育委員会生涯学習課が講師を派遣し、家庭教育に関する講座を行います。講師に関する謝金は、生涯学習課が負担します。(上限あり) 詳しくは、金沢市教育委員会生涯学習課 (Tel.220-2441) までお問い合わせください。

◆親子のイベント情報◆

◆キゴ山親子自然体験塾・春

テント泊、野外炊飯、ネイチャーオリエンテーリング、キャンプファイヤー、天体観望

- 日 時 5/26 (土) 9:00 ~ 5/27 (日) 14:00 [1泊2日]
- 会 場 銀河の里キゴ山
- 対 象 金沢市内の小中学生とその保護者
- 参加費 2,500円/人
- 申込み 往復ハガキ
〒920-1141 金沢市平等本町力 13-1
銀河の里キゴ山 こども交流棟
(申込み受付: 4/24 ~ 5/7 必着・多数時抽選)
※注意 申込記載事項はHPで確認
- 問い合わせ先 Tel.076-229-1141

めおとすぎ ◆娯杉少年の森 春の親子キャンプ

- 日 時 5/19 (土) 10:00 ~ 5/20 (日) 14:00 [1泊2日]
- 会 場 娯杉少年の森
- 対 象 金沢市内在住の高校生までの子どもを含む家族 20組
- 参加費 無料
- 申込み 往復ハガキ
〒920-8577 金沢市広坂 1-1-1
金沢市教育委員会生涯学習課
(申込み受付: 4/10 ~ 4/27 当日消印有効・多数時抽選)
※注意 記載必要事項はHPで確認、
食材は各自持参、テントは貸出可
- 問い合わせ先 Tel.076-220-2441

家庭教育の相談窓口の紹介

金沢市教育プラザ 研修相談センター こども総合相談センター	①おはなし電話	子どもの発達や学校生活、子育てなどに関する相談に応じます。 (平日 9:00 ~ 21:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00)	Tel.076-243-0874
	②こども専用 相談ダイヤル	子ども専用の通話料無料の相談電話です。 (平日 9:00 ~ 21:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00)	Tel.0120-92-8349
	③いじめ電話相談	いじめに関する悩みごとについて、電話でお応えします。 (平日 9:00 ~ 21:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00)	Tel.076-243-1019
金沢市児童相談所	④虐待通報	子どもの虐待に関する通報を 24 時間体制でお受けします。	Tel.076-243-8348
	⑤児童相談所	18歳までが対象です。相談内容は養護、保健、心身障害、非行、育成、虐待等です。(平日 9:00 ~ 17:45)	Tel.076-243-4158
金沢市児童家庭相談室	経済的に困っている家庭の子どもに関する相談や、ひとり親家庭の相談に応じます。 (平日 9:00 ~ 17:45)		Tel.076-220-2422
金沢市家庭教育サポーター	身近な地域の家庭教育サポーターが相談に応じます。 (連絡先 金沢市教育委員会生涯学習課 平日 9:00 ~ 17:45)		Tel.076-220-2441

かなざわ家庭教育通信「かがやきプラス」は、家庭教育について考えていただく目的で発行しました。

年2回の発行を予定しておりますので、お役立てください。

かなざわ家庭教育通信「かがやきプラス」へのご感想・ご意見がありましたら、下記までお知らせください。

〒920-8577 金沢市広坂 1-1-1 金沢市教育委員会生涯学習課 Tel.076-220-2441 Fax.076-220-2488

E-mail syougaku@city.kanazawa.lg.jp